

第27回京都市総合教育センター
教育研究発表会
実践発表

京都市立
蜂ヶ岡中学校

宮嶋 由紀子



蜂ヶ岡中学校

1年…	177人
2年…	171人
3年…	206人

自校の総合の課題

- ・ 3 学年を貫く芯がなかった
- ・ 質疑応答ができなかった
- ・ 義務教育の間に
自分の生き方について
考えさせなかった



単元計画 (3年)

1学期

4月～7月

- 平和学習
(修学旅行)
- 自己探究
導入

2学期

8月～12月

- 幸せの掘りおこし (2h)
- プレゼンテーションとは (1h)
- 探究テーマの決定 (2h)
- 問いの設定 (3h)
- 仮説の決定
- Qワード・引用の仕方 (1h)
- 情報収集 (2h)
- 整理分析
- 中間発表 (2h)
- 修正 (3h)
- プレゼンテーション (全員)
- 全校プレゼンテーション

3学期

1月～3月

- 卒業論文 (5h)

【なぜ、探究学習をしてきたの？】

長い人生、誰かに自分の行く先を決められていたのではつまらない
例えば、進路、読む本、考え、友達、恋愛対象...

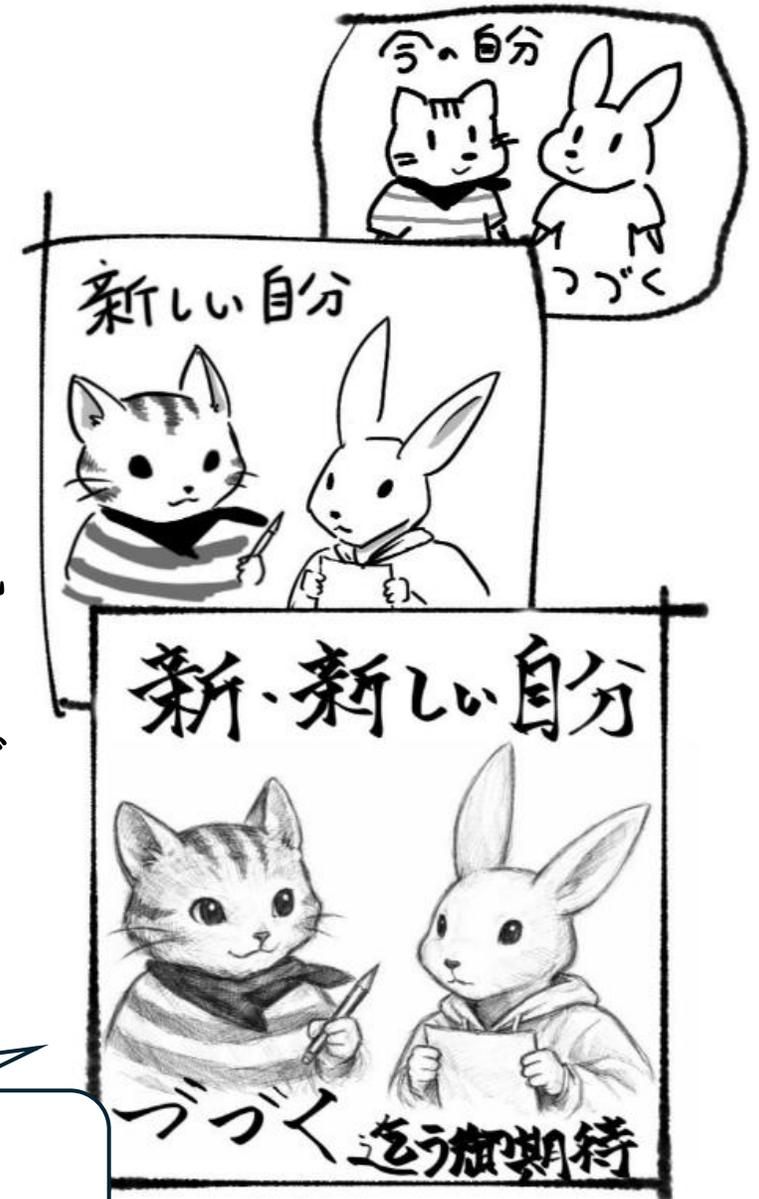
しかし、行く先を自分で決めようと思っても、
自分がどのような人間なのかがはっきりしなければ前には進めない。

総合学習、そして探究授業は、プレゼンテーション、もしくは卒業論文の執筆自体が目的なのではないのです。

探究活動を通じて「新しい自分」を発見する、その道のりこそが目的なのです。

自らテーマを決め、自ら学ぶことは「新しい自分」を発見することに繋がり、
きっと君たちの人生の土台となるはずです。

自分っていう人間の
解像度を上げる感じ！



探究テーマ

○○ × 幸せ

問い

仮説

探究課題

絵をかくこと	×	幸せ	絵の上手い・下手の基準は？
押し	×	幸せ	押しに対する気持ちと好きな人に対する気持ちの違い
金曜の夜	×	幸せ	みんなの楽しみは？
睡眠	×	幸せ	深く質の良いねむりにつくためには？
かわいい	×	幸せ	かわいいの基準
スポーツ	×	幸せ	観客の歓声は、選手にどのような影響を与えるのか。
愛	×	幸せ	なぜ人にとって愛は必要なのか
バドミントン	×	幸せ	身長の高さを有利にする方法
わんちゃん	×	幸せ	毛は長ければ長いほどかわいいのか
自由	×	幸せ	人間が完全に自由だった場合、世界はどうなるのか。
サッカー	×	幸せ	サッカーのうまさと、フィジカルの関係
達成感	×	幸せ	もし達成感がなかったら
自信	×	幸せ	自信を持つとは？

【プレゼンアドバイスシート】

発表者：

記入者：

教員が足りない
なら、
生徒同士で
高めあえる
関係をつ
くればいい。

スライド		アドバイス
② きっかけ	テーマの説明に (なってる ・ もうちょっと!)	
	この先の問いに (つながってる? ・ もうちょっと!)	
③ 問い	具体的? 知りたくなる書き方? (OK! ・ もうちょっと!)	
⑤ 検証した 内容	何に取り組んだか、どんな検証に取り組んだか、 (一目でわかる! ・ ちょっと分かりづらい…)	
	キーワードの箇条書きになってる? (OK! ・ ちょっと長い…)	
⑥・⑦	⑥ 検証内容・方法わかりやすい? (◎ ・ ○ ・ △ ・ ×)	
	⑦ ⑥をうけての結果がよくわかる? (◎ ・ ○ ・ △ ・ ×)	
⑧・⑨	⑧ 検証内容・方法わかりやすい? (◎ ・ ○ ・ △ ・ ×)	
	⑨ ⑧をうけての結果がよくわかる? (◎ ・ ○ ・ △ ・ ×)	
⑩・⑪	⑩ 検証内容・方法わかりやすい? (◎ ・ ○ ・ △ ・ ×)	
	⑪ ⑩をうけての結果がよくわかる? (◎ ・ ○ ・ △ ・ ×)	
⑫ 仮説に対する自 分なりの考え	ちゃんと④(仮説)に対する考えになってる? (◎ ・ ○ ・ △ ・ ×)	
⑭	③(問い) に対する自分なりの結論 になってる?	

もしも「さ」なら...

(↑探究⑦から取り出す)

もしも「さ」なら...

会話が苦手な人の特徴

自己主張が苦手

自信が低い

言葉がすぐに出てこない

主観的

会話をしたくない理由

人間関係のストレス

心身の疲労

笑う理由

安心感、幸福感

他者とのつながり

脳機能の活性化

原因

過去の経験

コミュニケーションの機会不足

SMSの影響 → オンライン

セロトニン

エンドルフィンの分泌

治療の処方

心理学の要因

不一致説

優越説 (劣等対象説)

安心説 (緊張緩和説)

サレの笑いは緊張の解凍

あそびのたのしみ

人間関係

雑言雑言 = 話を引き出す力

自己主張が苦手

自信が低い

言葉がすぐに出てこない

主観的

会話をしたくない理由

人間関係のストレス

心身の疲労

笑う理由

安心感、幸福感

他者とのつながり

もしも「さ」なら...

(↑探究⑦から取り出す)

もしも「さ」なら...

会話が苦手な人の特徴

自己主張が苦手

自信が低い

言葉がすぐに出てこない

主観的

会話をしたくない理由

人間関係のストレス

心身の疲労

笑う理由

安心感、幸福感

他者とのつながり

脳機能の活性化

原因

過去の経験

コミュニケーションの機会不足

SMSの影響 → オンライン

セロトニン

エンドルフィンの分泌

治療の処方

心理学の要因

不一致説

優越説 (劣等対象説)

安心説 (緊張緩和説)

雑言雑言 = 話を引き出す力

自己主張が苦手

自信が低い

言葉がすぐに出てこない

主観的

会話をしたくない理由

人間関係のストレス

心身の疲労

笑う理由

安心感、幸福感

他者とのつながり

脳機能の活性化

心理学の要因

不一致説

もしも「さ」なら...

(↑探究⑦から取り出す)

もしも「さ」なら...

会話が苦手な人の特徴

自己主張が苦手

自信が低い

言葉がすぐに出てこない

主観的

会話をしたくない理由

人間関係のストレス

心身の疲労

笑う理由

安心感、幸福感

他者とのつながり

脳機能の活性化

心理学の要因

不一致説

サレの笑いは緊張の解凍

あそびのたのしみ

人間関係

雑言雑言 = 話を引き出す力

自己主張が苦手

自信が低い

言葉がすぐに出てこない

主観的

会話をしたくない理由

人間関係のストレス

心身の疲労

笑う理由

その情報を集める方法 (2種類選ぼう!)

インターネット	
本 (図書館)	
インタビュー : 対象 ()	種類 (面接・電話・郵便・その他)
アンケート : 対象 ()	種類 (自由・強制投票・他・その他)
調査・記録 : 対象 ()	期間 ()
その他 ()	

迎は

⑬ 「話す」と「話しかかう」の違い。
 生じる感情は？
 「話す内容？」 「トーン？」 「表情？」 「声？」

⑬ 「話す」と「話しかかう」の違い。
 生じる感情は？
 「話す内容？」 「トーン？」 「表情？」 「声？」

生徒アンケートの結果(7月)

	課題設定				情報収集				整理・分析				課題解決				まとめ・表現				好き	
	できる	どちらかできる	どちらかできない	できない	できる	どちらかできる	どちらかできない	できない	できる	どちらかできる	どちらかできない	できない	できる	どちらかできる	どちらかできない	できない	できる	どちらかできる	どちらかできない	できない	はい	いいえ
人数	83	70	12	1	91	72	11	1	86	77	11	1	90	74	7	1	68	72	28	7	146	29
%	50	42	7.2	0.6	55	43	6.6	0.6	52	46	6.6	0.6	54	45	4.2	0.6	41	43	17	4.2	83	17

(11月)

人数	120	51	3	2	121	51	2	2	124	44	7	1	126	41	8	1	96	62	15	3	144	32
%	68	29	1.7	1.1	69	29	1.1	1.1	70	25	4	0.6	72	23	4.5	0.6	55	35	8.5	1.7	82	18

探究学習 好き？

楽だから

自分が選んだ探究について調べるのが楽しいから

頭を使わないから

普段の授業では感じられない自分の課題に向かって取り組むことができるから



深く考えて自分の答えが出た時に達成感ができるから。

探究では、自分の疑問や好きなことを調べる時間があるから、

やりがいがある

自分の中での謎を自分の力で調べて解決するのが楽しい。

今まで気づかなかった問題や疑問に気づくことができるから。

○押し付けるのではなく、共感を求める感じで幸せを語っていききたい。

○一番大事なのは「この発表がためになった」とかそう思われるような発表がしたい。

○全く考えたこともないような内容ばかりで、深掘りされていてとても面白かった。
他の人たちの価値観を知れてよかった。

○今回の探究で、幸せをつかみ取るにはその成り立ち、手に入れ方などを調べたり、人に感想を言ってもらったりして、つかみ取り方を理解することを学んだ。
これからももっと探っていきたい。

○幸せについて深く考えたことがなかったから今までと感じ方が変わった。
これからも自分の幸せをたくさんを見つけ、深く調べたい。

○幸せは身近にあるんだけど、深く考え、学び、教えあうことを通して、それを見つけるにはつかみ取らないと実感できないことがわかった

- 人の幸せを否定するのではなく、認め合い、共有することでより一層幸せになるのではないかと思った。
- 人の幸せを聞いて楽しかったし、興味がわいたからこういう時間を大切にしたいと思った。
- 今回の学習で、知りたいことをとことん追い続け、自分のことも考えられたので、幸せとは自分と向き合い続けることだと考えた。
- 全く違う人がいて、自分ももう一回幸せとは何なのかを考えさせられた。
- 幸せについて調べていくとそれが本当に幸せなのかなって感じて、本当の幸せはなかなか見つけにくく、気が付かないものなんだと思いました。
- なぜそうなるのかの疑問を持つことで自分が幸せに思っていることをもっと深めることが幸せにつながると感じました。
- 探究している時間が幸せでした。

探究の流れができた

探究スキル（1年）



発表スキル（2年）



自己探究開始



仮説・検証



中間発表



プレゼンテーション



卒論

今後の課題

* 教員のスキルアップ

「問い」「仮説」を立てる道筋の共有と精査
「必要性」と「流れ」のある探究学習

* ゴールの明確化

- ・ 3年後（1年後）、どういう姿を目指すのか。
3年間を見据えた流れの共有（全教職員）

* 生徒同士での高めあえる関係性を構築する。

ご清聴ありがとうございました